

会議録

(1)会議概要

会議名		令和5年度 第10回泉大津市参画と協働のまちづくり推進会議	
開催日時		令和6年2月8日（木）19時00分～20時30分	
開催方法		泉大津市役所4階401会議室及びZoomを活用したオンラインにより開催	
出席者	委員	久委員長、河合副委員長、大久保委員、河野委員、金原委員、中井委員、南委員、川上委員、花内委員、日高委員	
	事務局	東山政策推進部長、近藤市民協働推進課長、森田市民協働推進課長補佐、田戸市民協働推進課係員、寺田おづぶらざセンター長	
傍聴の可否		可	傍聴者数 0人
会議次第		1 開会 2 令和5年度事業報告及び令和6年度の主な取り組みについて 3 閉会	

(2)議事内容

○以下、事務局による進行

1. 開会

- 東山政策推進部長あいさつ
- 委員紹介、事務局紹介
- 資料確認
- 会長あいさつ

○以下、会長による進行

2. 案件

事務局より「令和5年度事業報告及び令和6年度の主な取り組みについて」を説明
(記録省略)

その後、委員による質疑応答

委員からの主な意見・指摘事項等

■ 市民からの意見収集について

- ・若い世代のアンケートや意見が少ないように感じる。
- ・他市では、総合計画のパブリックコメントを募集する際に SNS を活用し、多くの意見が集まった事例がある。市からの呼びかけだけでなく、市民同士が情報交換できるような仕組みが必要である。

■ 市民と行政の協働について

- ・井戸端会議のような市民が集まる場所に市職員が出向き、顔見知りになることで、市役所に行かなくても意見交換が行えるような雰囲気が作れるといい。他市では、商工会議所が井戸端会議を開催しており、市職員だけでなく、府の土木事務所の担当も参加し、情報共有をしている。これも情報交換のひとつである。
- ・市民協働の最終目標を他部署にも共有することで、協働の幅が広がるのではないか。
- ・泉大津市は、ここ数年で市民と一緒に作り上げていく機会が多くなってきたと思う。今後も頑張ってほしい。

■ プロボノ活用支援事業について

- ・プロボノ活用を進めるために、団体が悩んでいる段階からアプローチをしてはどうか。また、支援の一覧表や活用事例があると活用しやすくなるのではないか。
- ・市職員は様々なノウハウを持っている。プロボノワーカーとして積極的に活動してほしい。
- ・団体の「できること」や「やってほしいこと」のリストがあれば繋ぎやすくなり、活用が広がるのではないか。

■ 団体活動や団体の在り方について

- ・高齢化や世帯数の減少、物価の高騰により、寄附を募ることが難しくなっている。地域が集まり、ピンチを乗り越えていくためには実情に応じた工夫や対策が必要である。
- ・自治会や子ども会、PTA 等、活動を見直す時期にきている。今後の協働にとって重要な課題である。
- ・自治会とまちづくり協議会は役割分担が必要である。自治会は世帯参加で、まちづくり協議会は個人参加である。まちづくり協議会の役割は、地域と関わる機会を作ることである。

○以下、事務局による進行

3. 閉会（記録省略）